

研究課題名	HBV 持続感染者における HBe 抗原・HBe 抗体力価変化の解析
研究責任者名	医系科学研究科 消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2019年5月29日～ 2024年3月31日
対象者	承認日～2020年3月31日の間に広島大学病院に通院歴のあるHBs抗原陽性のB型肝炎ウイルス持続感染者のうち、本研究に同意の得られた患者さん
意義・目的	日本肝臓学会はB型肝炎治療ガイドラインにおいて、治療の短期目標を血中HBV DNA陰性化、ALT正常化、HBe抗原陰性化としています。多くの場合、HBe抗原量の変化は、生体内の免疫応答とともに生じ、HBeセロコンバージョン（HBe抗原陰性化し、HBe抗体が出現する）とともに肝炎は鎮静化しますが、HBe抗原の機能や動態に関する研究は乏しく、不明な点が多いです。そこで本研究では、HBe抗原・HBe抗体の变化に着目し、HBeセロコンバージョンが生じる前後で

のB型肝炎ウイルスマーカーや臨床データを数理的なモデリングを用いて解析し、HBeセロコンバージョンの病態解析につなげたいと考えております。

方法

診療の際に測定したB型肝炎ウイルスマーカーを含めた血液検査データや臨床データをカルテから抽出し、共同研究先である米国の Loyola University Chicago Medical Center および Virginia Tech に送付します。但し、一部の診療情報（HBe抗原）に関しては、現在当院で保存している血液約100 μ LをAbbott社に送付し、測定して頂き、その測定結果を研究に使用します。Loyola University Chicago Medical Center および Virginia Tech では、当院から送付したデータを用いて、数理的な解析を行います。

カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（血液一般検査、血液生化学検査、HBV関連マーカー）、腹部超音波検査、肝組織所見です。

（同じ内容を可能な情報は解析に用います。）